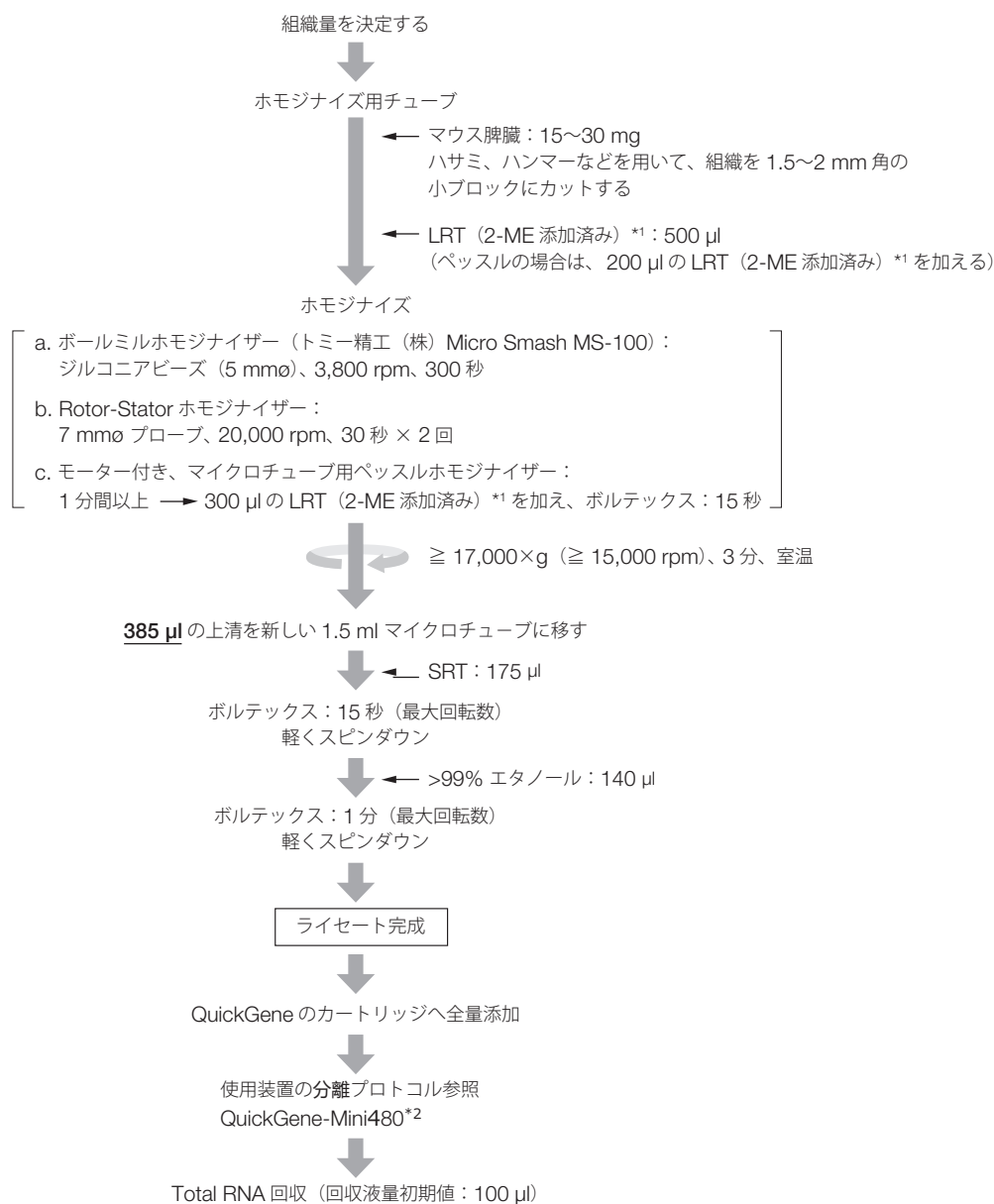


**RA-b-16**

# マウス脾臓からの total RNA分離

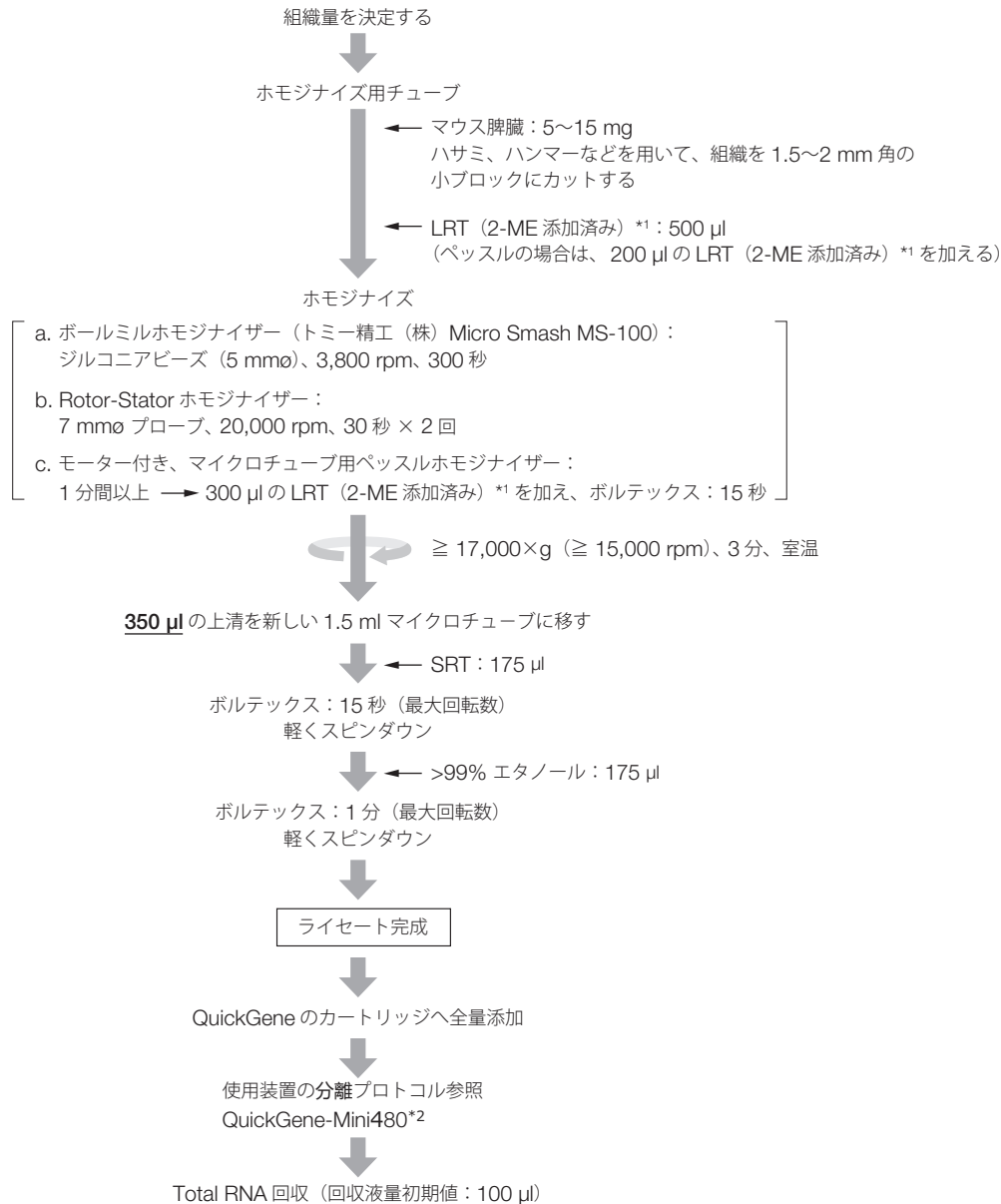
## プロトコル 1 (15-30 mg)



\*1 1 ml の LRT 当たり 10 µl の 2-ME を加える。

\*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## プロトコル 2 (5-15 mg)



\*1 1 ml の LRT 当たり 10  $\mu$ l の  
2-ME を加える。

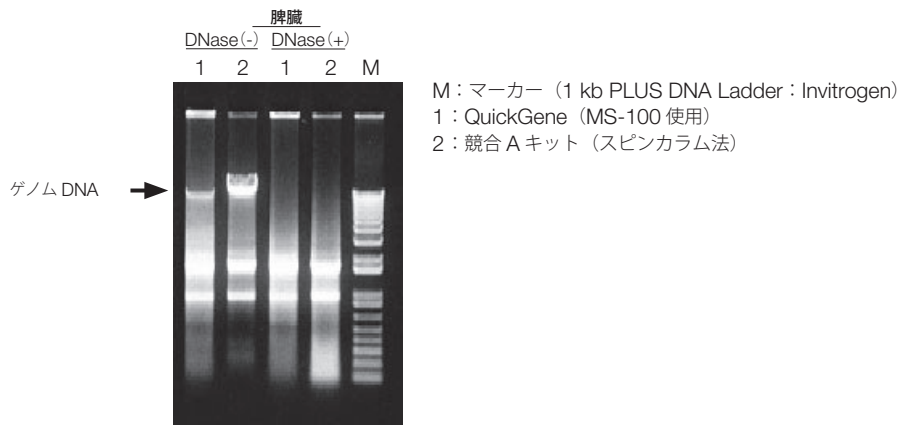
\*2 本事例は旧機種で取得したデータ  
も含まれます。  
その他 QuickGene シリーズでもこ  
のプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

### 電気泳動図

QuickGene システム（ボールミルホモジナイザー使用）および競合 A キット（スピнкаラム法）を用いて、マウスの脾臓組織から分離した total RNA で非変性アガロースゲル電気泳動を行った。

電気泳動条件：1% アガロース / 1 × TAE



### Total RNA の収量

組織	ボールミルホモジナイザー（MS-100）			Rotor-Stator ホモジナイザー		
	組織の量	DNase (+)	DNase (-)	組織の量	DNase (+)	DNase (-)
脾臓	30 mg	48 µg	54 µg	20 mg	32 µg	31 µg

### タンパク質の混入：A260/280

組織	組織の量	A260/280	
		DNase (+)	DNase (-)
脾臓	30 mg	2.05	2.30

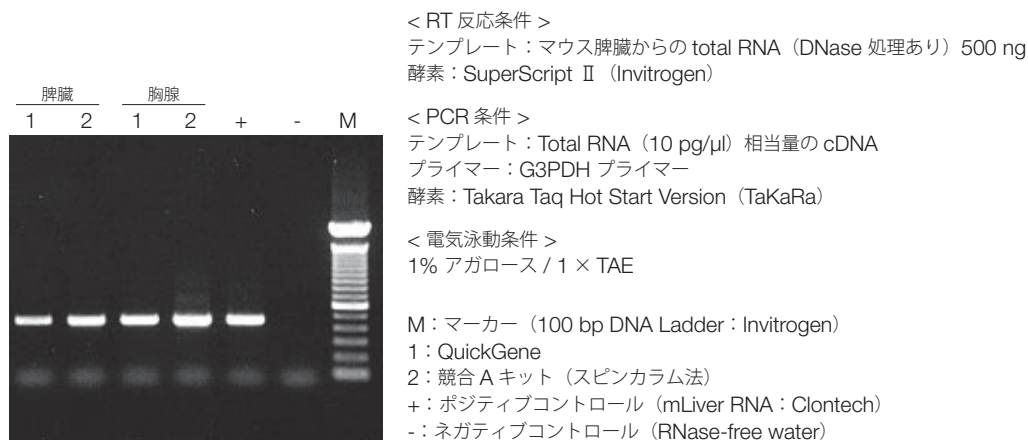
### カオトロピック塩の混入：A260/230

組織	組織の量	A260/230	
		DNase (+)	DNase (-)
脾臓	30 mg	2.23	2.09

### その他

#### ● RT-PCR

QuickGene システム（ボールミルホモジナイザー使用）および競合 A キット（スピнкаラム法）を用いて分離した total RNA で RT-PCR を行った。



## 共通プロトコルサンプル

マウス精巣、マウス肝臓、マウス脳、マウス肺、マウス腎臓